

持続可能な地域づくり

人口減少や少子高齢化が進む中、東日本大震災からの復興後を見据えた、持続可能な魅力ある地域づくりが大きな課題となっている。

その課題解決のために、過日、「地域づくり講演会」が開催された。また、地区公民館の役員などを対象として、市内11地区では、「地域づくり懇談会」が、順次開催されている。

地域づくり講演会

地域づくり懇談会に先立ち、明治大学農学部専任教授小田切徳美氏を講師に、地域づくり講演会が開催された。少子高齢化・人口減少が進む中、農山漁村では人・生活・住み続ける心の空洞化が進行しております。将来戻ってくるような人材づくり、仕事づくり、住民による地域づくりなど、地域の活性化に向けた取組について学んだ。

地域づくり懇談会

地域づくり懇談会に先立ち、明治大学農学部専任教授小田切徳美氏を講師に、地域づくり講演会が開催された。少子高齢化・人口減少が進む中、農山漁村では人・生活・住み続ける心の空洞化が進行しております。将来戻ってくるような人材づくり、仕事づくり、住民による地域づくりなど、地域の活性化に向けた取組について学んだ。

地域づくり懇談会に先立ち、明治大学農学部専任教授小田切徳美氏を講師に、地域づくり講演会が開催された。少子高齢化・人口減少が進む中、農山漁村では人・生活・住み続ける心の空洞化が進行しております。将来戻ってくるような人材づくり、仕事づくり、住民による地域づくりなど、地域の活性化に向けた取組について学んだ。

こうした公民館活動を経験した人々が、地域運営組織に関わることにより、一部では多様な世代により運営され、世代交代ができる組織となっているが、公民館と地域運営組織の関係には整理すべき課題がある。人材育成の重要性を考えると、どのような状況にあつても公民館的な機能は不可欠であることは間違いない。両者の緊密な連携は特に重要となっている。

織への関心が高まっている。公民館活動の特徴は、そこが多様な世代に関わる場となつており、人材育成が地域運営組織の活動に貢献し、多様な世代のリーダーが連携し運営しており、住民同士を「結ぶ」ことも任務の一つとなっている。

こうした公民館活動を経験した人々が、地域運営組織に関わることにより、一部では多様な世代により運営され、世代交代ができる組織となっているが、公民館と地域運営組織の関係には整理すべき課題がある。人材育成の重要性を考えると、どのような状況にあつても公民館的な機能は不可欠であることは間違いない。両者の緊密な連携は特に重要となっている。

たり、増加傾向にある。

一方で、地区・地域での高齢化、担い手不足等の課題も出ていることから、地区（市）と行政とのあり方、地域づくりに即した体制づくりのためには、市からの財政援助だけではなく、人的支援も必要であるとの声もあり、地域づくりの担い手としての住民要であるとの声もあり、地域統合など新たな課題もあり、持続可能な地域づくりのため、「自助」「共助」「公助」に近助（近所）を加えた4輪駆動の潤滑油としての議員の役割が大きくなっています。

議員の任期も残すところ2年となった。行政と議会が車の両輪となり、持続可能な地域づくりに鋭意努力していく。

議会：主な活動日誌

4月 11日	会派代表者会
16日	総務常任委員会、教育福祉常任委員会、議会運営委員会
23日	気仙地区議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟役員会
24日	全員協議会、月例会議
27日	常任委員会の所管事務調査に係る提言書提出
5月 11日	議会運営委員会
14日	会派代表者会
15日	第2回臨時会、全員協議会
22日	会派代表者会
24日	正副議長・常任委員長懇談会
28日	産業建設常任委員会、いわて・大船渡港セミナー2018
31日	議会運営委員会、復興特別委員会幹事会、月例会議
6月 1日	気仙地区議会議員協議会役員会
4日	市政調査会役員会
7日	全員協議会、教育福祉常任委員会、産業建設常任委員会、国際リニアコライダー誘致推進議員連盟役員会
12日	議会運営委員会
15日	第2回定例会（初日）、産業建設常任委員会、復興特別委員会、国際リニアコライダー誘致推進議員連盟総会
19日	産業建設常任委員会、会派代表者会
20日	第2回定例会（一般質問）
21日	第2回定例会（一般質問）、議会運営委員会
22日	第2回定例会（一般質問）、総務常任委員会、産業建設常任委員会
26日	第2回定例会（最終日）、総務常任委員会、教育福祉常任委員会、市政調査会、月例会議
27日	議会運営委員会
29日	気仙地区議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟役員会
7月 3日	気仙広域連合議会全員協議会
10日	気仙地区議会議員協議会役員会
17日	総務常任委員会

編集後記



本市でも、多くの公民館が地域のコミュニケーションの中心となり、社会教育・生涯学習のみならず、交通・防犯など各般にわたり行政を支えてきたが、近年では震災からの復興や地域包括ケア・地域助け合い協議会・地域づくり推進員などの活動も多種多様にわざわざつ抜く、一つのことを四方八方から見るきめ細かな施策が必要であるとのこと。

地域運営組織の「先進地域」と公民館の活動が活発な地域

常任委員会をはじめとする、議会内の各種委員会の改選に伴い、議会だ

より編集委員会も新体制となりました。

新メンバーで協力しながら、より親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。

皆様におかれましては引き続きご愛読くださいますよう、よろしくお願ひいたします。

市議会だより 編集委員会

森	田	渕上	船野	堅市	行正
亨	英二	清	章		



「大船渡市議会だより」は、国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（グリーン購入法）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙と植物油インキを使用しています。